

# 交流ハイク2020：御座山・権現岳・入笠山⇒日向山

斉藤 整紀

## ●始めに

今年の交流ハイクは、土曜に、各人がハイクののち会長の山梨別宅へ参集し、翌日、全員で日向山山行を行う企画になった。

土曜の登山は、白井さんが佐久の名山御座山（カグラマ）を5時間程かけて制し、飯塚さんは渡邊さんと権現岳を観音平から3時間半で踏破したとか！以前、渡邊さんが、祠の鎮座する岩塔に登った写真も披露！我々は無難に入笠山である。

## 《入笠山》

●2020年11月7日（土）曇り

●メンバー 松田福男（CL）・斉藤整紀

所沢駅 6:30（車）⇒沢入登山口 10:00⇒入笠湿原  
10:40⇒入笠山山頂 11:45⇒13:15 沢入登山口（車）  
⇒15:00 斎藤亘会長宅（泊）

天気は下り坂で、雨の気がかりな山行。天気のせい、車はどこも順調で、入笠山が近づき、高度が上がるにつれ、車中からの紅葉が美しくなる。沢入登山口駐車場もあまり混んでいない。まず、なだらかな上り40分程で入笠湿原に到着。草紅葉も終盤で、アースカラーに落ち着き、感動は少ない。



次に、マナスル山荘先の鹿よけゲートを潜って、野焼きしたばかりのお花畑を縦断して少し高度を上げると、唐松を始め木々はすっかり葉を落としている。最後に、15分程しっかりした上りをこなすと入笠山山頂である。



展望が開け、北西方面や八ヶ岳山頂付近に雲があるものの、全体に期待以上の景色で、まずまずの山行である。雪のシーズンや春、できれば鈴蘭が咲き、湿原が匂いたつ季節にも来てみたい。

会長宅に明るいうちに着き、会長や奥様の案内で丹精込めて育てている野菜や花、木を拝見。更に薪割りで遊ばせて頂いた。締め近くに浴場で汗を流し、暗くなり道探しに難渋する2組の到来を待ちながら、上品でしっかり者の奥様の手料理を頂いた。皆が到着してからは更に盛り上がり、10時過ぎまで酒を楽しませていただいた。奥様は全く酒を嗜まないのに！

## 《日向山》

●2020年11月8日（日）快晴

●メンバー 斎藤亘（CL）・夫人、松田、白井、飯塚、渡邊、斉藤整、以上7名  
亘宅（車）7:00⇒下の駐車場 7:30⇒上の駐車場  
7:40⇒山頂（山頂散策・写真・おやつ）9:10～  
10:30⇒11:30 下の駐車場（車）⇒12:00 亘宅

夜中迄降り続いた雨は、明け方には拳がり、すっきりした秋晴れが訪れた。朝日差す居間の窓辺からは鳳凰三山が連なり、その中央に地蔵のオベリスクも望め、甲斐駒の黒戸尾根が凜々しい！何と贅沢な！外に出ると八ヶ岳も近い！隣家の高い無機質な塀が若干目障りであるが、、、

朝食を頂き、会長の軽トラと飯塚氏の車と2台に分乗。上の駐車場の狭さ、混雑を勘案、下の駐車場に車を置く。車道のすぐ上に登山道があり、10分程の急登を凌ぐと上の駐車場に至る。狭い駐車スペースには既にかかりの車が入っている。そこからは歩き易い登山道が続く。しかし私は何よりコロナ太りが禍いして、ペースダウン。

それでも綺麗な紅葉と木々の間から望む富士、鳳凰、八ツの景色に励まされ、皆より少し遅れて頂上へ着いた。

何んと！目の前には驚く程明るい絶景が！



白い花崗岩が広範囲に広がり、まず八ヶ岳が足元から紅葉した全容を余す所なく晒している。



甲斐駒が立派！



甲斐駒寄りの花崗岩峰に向かうと地蔵のオベリスクは大きく、富士山は遮る物なくすっきりと望める。



花崗岩帯は確かに燕岳に似ている。イルカ岩に見えるものも！

オラ  
お山の  
大将だ！  
(豆)



反対側には八ツの南東に金峰、瑞牆の奥秩父連峰、そして昨日白井氏が制した御座山が見事な裾野を引いている。

これだけ盛沢山の景色なら亘会長が自慢する訳だ！下山は、好天下、対向の登山客の多さにうんざりする程である。それでも時々立ち止まっては樹間から光輝く紅葉を撮り続ける。亘宅に戻ってちょうど正午、奥様のおにぎりを頂いて家路についた。楽しく、お世話になりました。(了)

